

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



横山ガバナー事務所

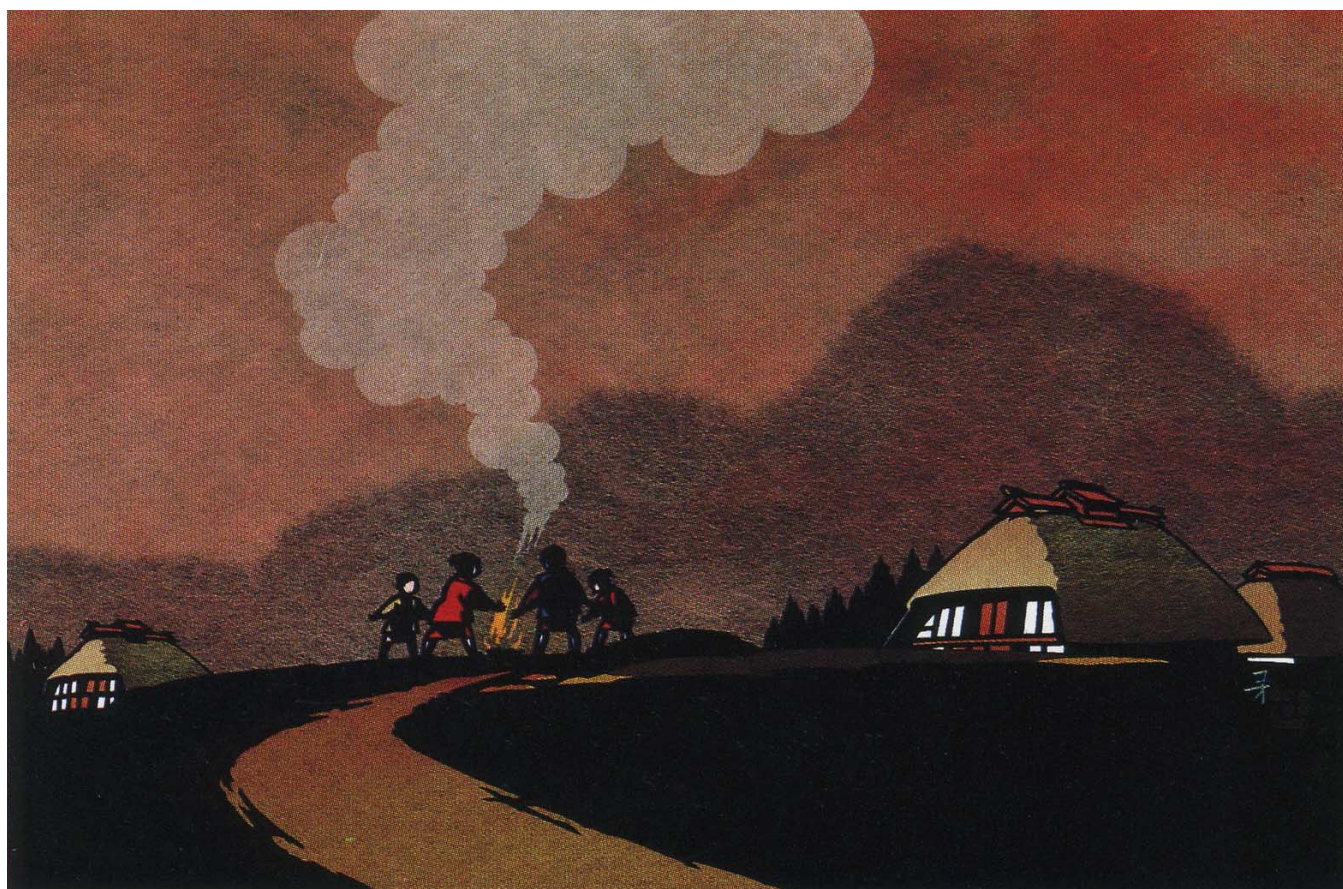
〒378-0054 群馬県沼田市西原新町町138-9 グリフ内

TEL.0278-30-2840 FAX.0278-30-2841

URL <http://www.rid2840.jp> E-mail yokoyama@rid2840.jp

2007 **11**

Vol.5 11月 R財団月間



[目次]

ガバナーメッセージ

| | |
|-----------------------------|-------|
| 2007-2008年度ガバナー 横山 公一 | 2 |
| 公式訪問報告 | 3~5 |
| 第2回諮問委員会・第3回研修委員会報告 | 6 |
| 第7回ライラ研修会報告 | 7 |
| ライラ研修レポート 米山奨学生 曹 受珍 | 8 |
| 「輝く女性の集い」報告 | 9・10 |
| 第26回全国ロータリークラブ野球大会群馬県予選大会報告 | 11 |
| 高崎北ローターアクトクラブ復活 | 12 |
| ロータリー財団国際親善奨学生 田島麻美さん卓話 | 13~15 |
| 地区大会報告 | 16 |

関口コオ 切絵・沼田ロータリークラブ 角田隆 蔵

| | |
|---------------------|-------|
| 地区大会報告—佐藤千壽RI会長代理挨拶 | 17~19 |
| 青少年交換—1年交換留学生報告 | 20 |
| 青少年交換—1年交換学生募集要項 | 21 |
| 青少年交換—夏期交換学生募集要項 | 22 |
| ローターアクトからのお知らせ | 23 |
| ハイライトよねやま92号(抜粋) | 24 |
| 文庫通信(242号) | 25 |
| 地区主要行事一覧表 | 26 |
| 周年行事予定クラブ | 26 |
| 新入会員 | 26 |
| 出席報告 | 27 |

地区大会御礼、R財団月間によせて

国際ロータリー第2840地区

2007 - 2008年度

ガバナー 横山 公一

皆様、大変お世話様になりました。RI2840地区最大の行事であります地区大会も、沼田RC実行委員会の下、地区内外から860名もの登録を頂き、無事成功裡の内に終了致しました。

RI会長代理にRID2580パストガバナーであります、佐藤千壽先生をお迎えし、また記念講演の講師も佐藤先生にお願いし、一人二役の大役をお願い致しまして「黄金の十字架・茨の冠 - 見果てぬ夢の職業奉仕 - 」の演題でご講演を頂き、今現在におけるところのロータリーの現実を浮き彫りにして頂きました。



参加のロータリアンの皆様は、ロータリーに於けるところの、本音と建前が良く理解出来たのではないかと考えております。そして、参加者皆様のご協力により、大変素晴らしい大会になりましたことを、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、本11月はロータリー財団月間であります。

ピチャイ・ラタクルロータリー財団管理委員長は、1917年の大会でアーチ・クランフが基金の創設を提案した際に用いた言葉を拝借するなら「世界で良いことをする」べく学ぶためにここにやって来たというのが端的な答えです。その概念を原型として、無数の人々の心を動かす今日のロータリー財団が生まれたのです。財団は、ロータリーの最も偉大で意義深い業績の一つであると思います。私たちが他にも多く成し遂げてきたことは事実ですが、仮に財団だけが私たちの功績だとしても、ロータリーの存在価値は十分にあると言えるでしょう。

アーチ・クランフは世界で良いことをするという夢を抱いていました。その夢にかかわれることの出来る私たちは真に幸せです。

朋友の皆さん、私は個人的な計画や具体的な目標を定めているわけではありません。なぜかと申しますと、たとえ私が目標を定めてみたところで皆さん一人ひとりが目標を定め、それを達成してくれない限り、私自身の目標が達成されることはないと分かっているからです。ですから皆さんの目標が私の目標となります。そして皆さんの目標が我ら財団の目標となります。

しかし、私には皆さんと分かちあいたい夢があります。そして、その夢を皆さんが地区のロータリアンと分かちあい、実現に向けて行動を起こして頂きたいという願いがあります。皆さんと同様、本年度「財団のプロジェクトに陽の沈むことなかれ」というのが私の夢です。

「ロータリーは分かちあいの心」であり、ロータリー財団は思いやりの精神がゆえに、希望と慈愛に満ちた一日が世界のどこかでいつも始まるのです。と言っておられます。真にその通りではないでしょうか？

私たち一人ひとりが自分自身で目標を定め、財団に協力して行こうではありませんか。

(ピチャイ・ラタクル財団管理委員長は体調不良のため、8月1日付でご退任なされ、後任にはカナダ、コーバークロータリークラブのロバートS スコット氏が財団管理委員長に就任致しました。)

ガバナー公式訪問を終了して

第2分区B
ガバナー補佐 菊池榮作

第2分区Bガバナー公式訪問の日程

| | |
|---------|-------|
| 伊勢崎東RC | 7月23日 |
| 伊勢崎南RC | 7月24日 |
| 群馬境RC | 7月26日 |
| 伊勢崎中央RC | 8月 2日 |
| 伊勢崎RC | 8月 8日 |

5ロータリー主催合同懇親会 8月8日 ザクレインパーク山楽荘(175名出席)

以上の日程でガバナー公式訪問が実施されました。

2週間前にガバナー補佐として、各クラブに事前訪問を行い、横山ガバナーは大らか、かつ誠実な人柄の方ですので、例会はいつもの通り、質問は本音の部分で大いにぶつけて下さいと強調いたしました。

各クラブは高齢化と閉塞感で元気を失っているようでした。そこで横山ガバナーは、クラブの自治権は尊重しながらクラブの悩みを解決すべく沢山の「引き出し」を用意している事を説明されました。

例えば、卓話の講師で困っていれば「出前講座サービス・プログラム」という形で卓話の内容にふさわしい講師を派遣しましょう。又日本中のパストガバナーの中から各分野の卓越した論客をおよびして、シリーズで勉強会を行うと明言されました。会員の質的向上によりロータリーが好きになり、よりロータリーが楽しくなり、クラブは活性化するでしょう。

そしてクラブで大いに行事を立ち上げて下さい。

困ったらいつでもガバナー事務所へ相談下さい。

安心して会長、幹事さんはクラブ運営に没頭して下さい。と語られ各クラブの会長、幹事さんの安心顔が忘れられません。

公式訪問、懇親会と短期間の直接交流でしたが、ロータリーは真に「君子の交わり」尊重し合える人と人の交わりは有意義かつ大いなる価値がある事を確信しました。

横山公一ガバナー公式訪問報告書

第4分区A

ガバナー補佐 中村康夫

第4分区Aの公式訪問を終えて横山ガバナーには大変お世話になりました。

ガバナーの地区目標にのっとり各クラブに対していろいろと勉強してまいりましたが、何と申しましても一言に言えば「活性化」という事に尽きると私は思います。これをなくして6項目の目標の達成はありえないと考えるからです。

では活性化とは何をすれば良いのかという事に尽きると思い次のような事を私なりに考えました。勿論楽しい例会とか卓話とかありますがこれは例年言われておりますし当たり前になりすぎてインパクトに欠ける気がいたしましたので、何か妙案はないかと思ったのです。

そこで各委員長さんをお願いし月に一度は必ず発言、発表をお願いし何かしらマイクを持っていただく事を義務付けていただく事。そしてその発言にさいし皆さんが聞く耳を持ち、その結果「どうなったか」まで確認し合う事です。

あるクラブでは雑誌委員長さんが「ある本を読んで」とクラブ協議会の時に発表しておりました。その本の狙いやこうして読んだらいいとか話しておりました。プログラム委員長さんも来月の案をこう言う目的で作りました、のでよろしくと話しておりました。大変感動いたしました。

私のクラブでもいつの間にか炉辺会談とかが忘れられておりほかにもやらなくなった委員会もあると思います。それからもう一つはメークを義務つける事をお願いいたしました。年に1、2度は必ず他のクラブにメークに行ってください、よそのクラブは自分のクラブにない良いところが必ずあります、それを自クラブに取り入れて皆さんで議論する事です。私もこういう立場にあるので本当に他クラブの事が良く見えてきました。

どんどん取り入れ真似をして結構、良いところはパクッてでも自クラブに導入してください。そして年が明けて頃合いを見てそのメーク状況を確認に訪問をしたいと考えております。各クラブの会長さんがその案を練ってくれていると思います。それから気がついたことが1つあります、各クラブの現況報告書についてであります。

この書き方には各クラブが様々に書いてありますが、歴史のあるクラブはかなり古いデータが記録されており果たして必要だろうか?、とさえ思う場面が見受けられました。古いデータはCDとかに記録として残し簡素化したらどうかと思いました。

又、会員名簿の詳しい部分はあえて載せていないクラブもあり、これは個人情報の流出保護のという意味なのかとも思いました。

以上私のガバナー公式訪問に関する報告といたします。

横山公一ガバナー公式訪問報告書

第4分区B

ガバナー補佐 野間 政弘

日程

| | ガバナー補佐事前訪問日 | ガバナー公式訪問日 |
|-----------|-------------|-----------|
| 館林RC | 9月7日 | 9月14日 |
| 館林西RC | 9月4日 | 9月18日 |
| 館林東RC | 9月5日 | 9月19日 |
| 館林ミレニアムRC | 9月6日 | 9月13日 |
| 大泉RC | 9月12日 | 9月26日 |

5ロータリー主催合同懇親会 幹事 / 大泉RC 9月26日 ヴィラ・デ・マリアージュ太田

前半の一大行事であり、山場であるガバナー公式訪問を無事終了する事ができ、まずもって、横山ガバナー始め、5ロータリークラブの会長、幹事、メンバー、スタッフの皆様に深くお礼申し上げます。

まず、各クラブに事前をお願いしたことは、種々準備は基本として、せっかくのガバナーの訪問と懇親会に一人でも多くのメンバーに積極的に参加して頂き、直接ガバナーと交流を深めてもらいたいという願いを致しました。

各例会は通常通りの各クラブの流儀を進めてもらい、その中で横山ガバナーに講話を頂戴いたしました。パワーポイントを使用し、明確でとても理解し易いと好評の30分間でありました。質疑応答も、各クラブの個性、実情と、ガバナーのお人柄がにじみ出る貴重な時間でした。5クラブ合同懇親会には、高木パストガバナーも駆けつけて頂き、大泉RCの向井メンバー率いる生バンドの演奏も花を添え、100人超のロータリーメンバーで楽しく充実した時間を過ごすことができました。

第4分区Bのガバナー公式訪問を終えて感じたことは隣り合うクラブながら各々地域・クラブの実情に合った運営をしていること。そして各クラブ共に会長、幹事を筆頭に一丸となって真剣にロータリーを考え、楽しんでいるということを実感いたしました。

第2回諮問委員会報告

9月30日(日)14:30～前橋のマーキュリーホテルで第2回諮問委員会が開催され、下記事項の報告等がなされました。

報告事項

1. 地区大会プログラムの件
2. 公式訪問経過報告
3. 地区近況報告
4. 2009-2011年度次期RI理事ノミネー 八戸南RC・黒田正宏さんに決定

諮問事項

1. 地区大会 大会委員会の件 了承
2. 地区大会 大会決議(案)の件 了承

第3回研修委員会報告

9月30日(日)12:30より前橋のマーキュリーホテルで第3回研修委員会が開催され、下記事項の協議等がなされました。

協議事項

1. 12月1日(土)地区指導者育成セミナーの件

地区指導者育成セミナー概要

開催日 / 2007年12月1日(土)

会場 / 前橋マーキュリーホテル

登録・受付 / 9:00～

開 会 / 9:30～

特別講師 / RID2680 元ガバナー 深川 純一氏

テーマ「ロータリーにおけるリーダーシップ」

(尚、詳細については先日ガバナー事務所よりメール又はFAXで案内した通りです)

第7回ライラ研修報告

テーマ「自然と環境」と「自己への挑戦」!!

～清流の風に吹かれて～

日時 / 2007年10月6日(土) 12:30 登録・受付

2007年10月7日(日) 15:30 解散

場所 / 桐生市青少年野外活動センター

青少年とロータリアンが一同に会して、2日間の研修を有意義に過ごしました。

研修日程

| 研修日程 第1日目 10月6日(土) | 研修日程 第2日目 10月7日(日) |
|--|---|
| 12:30～13:00 登録・受付 | 6:00～7:00 起床・清掃・寝具の整理等 |
| 13:00～13:20 オリエンテーション(プレイホール) | 7:00～7:20 朝のつどい |
| 13:30～14:20 開会式(プレイホール) | 7:20～8:00 朝食(食堂)・諸事お知らせ |
| 14:30～15:30 基調講演(プレイホール) 「あなたが作るこれからの環境」 (美しい水を求めて) 群馬工業高等専門学校教授 小島 昭 氏 | 8:30～11:30 野外レクリエーション |
| 16:00～18:00 グループディスカッション | 11:30～12:30 昼食 |
| 18:00～19:50 野外バーベキュー | 13:00～14:20 特別講演(プレイホール) 「すばらしき日本の文化」- 自己への挑戦 - 落語家(『突撃!隣の晩ごはん』でおなじみの ヨネスケさん) 桂 米助 氏 |
| 19:50～20:20 キャンプファイヤー | 14:20～15:00 グループ別まとめ 感想文作成・提出 |
| 20:20～22:00 自由交流 | グループ別意見発表(プレイホール) |
| 22:00 消 灯 | 15:00～15:30 閉会式(プレイホール) |

参加者内訳

ローターアクト25名 インターアクト21名 米山奨学生13名

青少年交換学生(1年交換)2名 研修生39名 ロータリアン69名 桐生RC45名 合計214名



記念撮影



講演会場



野外レクリエーションでの紙すき体験

米山奨学生のライラ研修体験記

米山奨学生 チョ曹 スジン受珍

米山ロータリー奨学生の曹受珍です。

まず、このような素晴らしい機会を与えて頂いたことを横山公一ガバナーを始め国際ロータリー第2840地区の皆様から心から感謝申し上げます。

文字通りに清流の風に吹かれたあつという間の2日間でした。今回の研修テーマであった「自然と環境」は、まさに今私たちに直面している最も重要なテーマであると思います。

地球規模の課題である自然と環境問題についてグループごとに真剣に話し合うことができました。最初は会ったばかりで話すことが恥ずかしく、照れていましたが、「私たちができる環境保全」という一つのテーマで話し合う内に柔らかな雰囲気になりました。

日本では、「ちりも積もれば山となる」ということわざがあります。韓国にも全く同じことわざがあります。環境保全について話している間ずっとこのことわざが頭に浮かんでいました。「知っている」だけでは、何も変わらない。「知っている」ことを「している」に変えていくことが、私たちができる最小で最大の努力であると思います。何かについて話し合うこと、考えること、何より行動に移すことがいかに大切であるかを実感する大変充実した時間でした。

特に、感銘を受けたことは、国立群馬工業高等専門学校の小島教授の炭素繊維による水の浄化やアスベストの除去に関する画期的な研究についての素晴らしいお話でした。また、日本文化の素晴らしさや面白さについての楽しいお話も非常に勉強になりました。

環境も文化も人の手で創られたものであります。だから人々の手で守っていかねばならないと思います。

米山奨学生になったことでこのような経験(チャンス)ができたこと、ロータリークラブを通じて各界各層の方々に会えたことや自分がロータリーの家族であることに大きな魅力と可能性を感じています。今回の研修で学んだ知識やお金では買えない経験、貴重な出会いをこれからの自分を成長させるエネルギー源に換えていきたいと思っています。



藍染体験の初作品 同じ米山奨学生の李さんと一緒に

「輝く女性の集い」報告 1

RI2840地区 第1分区

ガバナー補佐 井上 芙美子

1. 山東 昭子(恵比寿RC)参議員 挨拶

日本のロータリアンの中で女性は3.68%きりいない。

世界では15%を超えている。

最もよく奉仕するものが、最も良く報われるのだ。

才能・信用・信頼・用意・奉仕する。

本当に輝いている人は、他の人を輝かせている人である。と言うお話がありました。

2. 講演として、森 英恵さん「美しい日本人」とは

彼女は1961年パリに行き、日本の着物を洋服にするにはどうしたら良いか考えさせられた。

当時のデザイナーは「ココシャネル」が女性のデザイナーだった。ほとんどが男性のデザイナーであった。

ブラウス、スカートは体に一番近いところなので、丁寧に仮縫いをした。

肩があうことが一番大切なことなのだ。

そして、日本独特のものを大事にして、「美しい日本人」とは、ルーツのあるしっかりした人間、日本人であることを表現していった。

パリで27年間勉強し、日本に帰国後、デザイナーとして活躍してきた。

パネラーとして

- | | |
|---------|---|
| ①高市 早苗 | 内閣府特命担当大臣 衆議員 |
| ②松原 亘子 | (財)21世紀職業財団会長・元労働省事務次官・元イタリア大使 |
| ③寺田 千代乃 | アート引越センター アートコーポレーション(株)社長 (株)関西経済連合会副会長 |
| ④石井 幹子 | 照明デザイナー、光文化フォーラム代表 |
| ⑤渡辺 ミキ | (株)ワタナベエンターテイメント社長 (株)ワタナベプロダクション副社長 |
| ⑥司 葉子 | 女性ロータリアン代表、RI広報支援、第2ゾーンコーディネーター、女優 |
| ⑦松島 トモ子 | 東京恵比寿RC 女優、歌手 |
| ⑧草野 満代 | ニュースキャスター、NHKアナウンサー、元TBSニュース23キャスター |

上記の方達の出席のもと開催されました。

パネラーの経験談として

①高市 早苗

衆議員

女性が活躍するためのABC

「男女共同参画」女性がチャンスを与えられるようになった。

しかし、国会議員等に立候補する女性が少ない。

小選挙区ではマスコミが強すぎて、女性はやりにくい面が多い、等を話された。

②松原 亘子

女性の雇用エキスパート

1965～35年間労働省に勤務してきた。

(1)家庭と仕事の両立

(2)再チャレンジの機会

(3)パートタイマーの働き方(働き方の処遇)

ロールモデルの活躍、等を話された。

「輝く女性の集い」報告 2

③石井 幹子

ライト照明デザイナー

1965年 海外へ渡った。

光を作ることをして来た。

平成元年東京タワーを始めとし、レインボーブリッジ(レインボーの色)。浅草寺(浅草)、姫路城(地域の活性化)、白川郷(冬のライトアップ)。明石海峡大橋(4km)、愛地球博、日本ひろば、鳥取花街道、虹のプログラム、倉敷の白いかべ照明、東京国立博物館、光彩塾(新しい光)、丸の内一皇居、ライトピア(環境にやさしい光)、和田倉橋、地球環境、あかりえ等々、数々のライト照明を手掛けてまいりました。そして、人生の中で感じたことは、

A / 一生懸命やる

B / 一步一步進む

C / ひとつのことを長くやる、最低10年位

そして新しいクリエイションを作っているというお話でした。

④寺田 千代乃

アート引越センター、関西経済同友会の代表幹事

●女性に対する期待

●ロールモデルが必要

●アート引越センターは、30年前に創業、ベンチャー企業だと言われた。

●女性が必要とすることをサービスしてきた。

殺虫サービスや、新しい家に入る時は白いソックスに履き替えた。

●レディスパック(女性が全てやる)

●シニアパック(引越しはサービスである)

●働く女性のサポート(保育ライフ事業をスタート)

コムスの保育事業を買い取った。(200ヶ所以上にしたい)

このようにしてアート引越センターは伸びて来たのだと痛感致しました。

⑤渡辺 ミキ

渡辺エンターテイメント

芸能、渡辺プロダクションを両親がやって来た。

生きる希望、勇気を与える仕事である。

父はドラムと歌の出来る人を使う。リアリティな人である。

世界の人達を笑顔にする。

若い、二代目、三重若だと言っていた。

⑥司 葉子

ロータリー入会10年前、恵比寿ロータリーで女性48名、男性50名という会員で構成されているクラブである。

会員は人生の志を持ち続けていくことが大切だと言っておりました。

⑦松島 トモ子

総合司会で、歌も歌い、又、障害者ダンスをしている。

以上、2840地区では女性ロータリアン10名が参加致しました。

日本で代表でもある輝く女性達の経験談をお聞きしまして、彼女達がそれぞれ一人一人個性を生かしてお仕事をして、成功して来たことが良く分かったような気が致しました。

やはり、やる気第一で、自分の目標に対して、どう向かい合っていくかが大切だと痛感致しました。これからの自分の人生に生かしていきたいと考えております。

「輝く女性の集い」に参加できたのは、ロータリアンであったからこそと思います。

この出逢いをロータリークラブに感謝いたします。ありがとうございました。

第26回 全国ロータリークラブ野球大会県予選開会式

幹事クラブ：桐生ロータリークラブ野球部

幹事 大島 武司

平成20年5月より始まる第26回全国ロータリークラブ野球大会の県予選として、群馬県大会の開会式ならびに初戦が、9月30日(日)桐生市境野球場にて開催されました。

試合は、トーナメント方式で行い、決勝戦および閉会式は11月4日(日)に行われます。

初戦勝利チームは以下の2チームです。

桐生RC (VS 伊勢崎中央RC)

前橋北RC (VS 高崎南RC)

今年度参加チームは以下の8チームです。

前橋RC野球部

前橋東RC野球部

前橋北RC野球部

高崎南RC野球部

伊勢崎中央RC野球部

伊勢崎南RC野球部

桐生赤城RC野球部

桐生RC野球部



開会式の様子



笠原ガバナー補佐による始球式

アクト会員1名から1ヵ月間にて22名に 「高崎北ローターアクトクラブ復活」

高崎北ロータークラブ

高崎北ローターアクトクラブは1972年に高崎北RC(ローターアクト委員会藤井秀久委員長)の提唱により設立された。35年間の歴史の中で幅広い活動をおこなってきたが近年のRC会員の減少同様、伝統ある同クラブのアクト会員も激減した。

本年度に入り、「先達の心を継承」を合言葉に北RC稲川庫太郎会長ほか会員が奮起、地区ローターアクト梅山哲委員や高崎北RC高山秀男ローターアクト委員長を中心に1ヶ月間でアクト会員21名を増強、県内において会員数一番のクラブとなった。7月25日には復活後、初の例会を高崎ビューホテルにおいて開催した。

同例会には2840地区ローターアクト小林朱里代表や当クラブに表敬訪問中の第2560地区吉田昭平パストガバナーも特別参加、RC会員、アクトOBを含む総勢38名が出席、高林夏彦ローターアクト会長の挨拶や全員の紹介後、有意義な例会が開催された。



高林夏彦会長

2840地区ローターアクト
小林朱里代表・お子様と共に1972年ローターアクト委員会
藤井秀久委員長吉田昭平
パストガバナーローターアクト委員会
高山秀男委員長

例会参加のアクト会員



ロータリー財団国際親善奨学生 田島麻美さん卓話 1

1. 学業面での成果、及びこの留学体験が職業、学業、ボランティア活動その他の面でどのように役立つか。

・学業面での成果

初めてアメリカに留学し、大学のジャーナリズム学科専攻として1年間学ぶ上で、私には特別記憶に残る授業が3つある。一つ目は、Photojournalismの授業である。実際に一眼レフのデジタルカメラを使用して毎週与えられたテーマに沿って撮影の課題をこなしていき、新聞や雑誌、その他の記事に載せられている写真についてのみならず、photojournalistとしてのモラルや基礎知識、編集方法などを学ぶ授業であった。ニュースイベント、スポーツイベント、ポートレート、自分の住む地域や地元の紹介など与えられたテーマの撮影を通して、photojournalismの基礎知識だけでなくコミュニケーションの大切さや文化の違いなども学ぶことができた。自らの手でカメラを片手にイベントに出かけて撮影をするためには、必ず人とのコミュニケーションが必要かつ重要であり、そこから新たな出会いや発見、知識の広がりが生まれると実感した。

二つ目は、Back page magazineの授業だ。このクラスでは、自らの書いたエッセーを約20名のクラスメイトの前で発表し、クラスメイト全員と教授からのアドバイスを受ける。アメリカ人のクラスメイト一人ひとりからコメントやアドバイスをもらうことにより、英語あるいは英語的思考で受け入れられる文章や、日本語の文章との表現方法の違い、アメリカ人の発想やアメリカ文化を知ることができた。また同時に、実際に使用される旬の英語を学ぶことができ、非常に実りある授業であった。クラスメイト全員のエッセーをまとめて作ったマガジンは、記憶としてだけでなく記録として残る一生の宝となるだろう。

三つ目は、International communicationの授業である。国によるメディアの発達、重要性の違いやメディアの歴史を学び、自国の文化やメディアについて改めて客観的な立場から日本を知ることとなった。今まで学ぶ機会がなかった中国やアラブ地域、アフリカのメディアなどについても、現地のメディアなどで働いた方々から直接話を聞くことができ、International communicationを肌で学ぶことができた。

・この留学体験がさまざまな面でどのように役立つか
まず初めに、私はこの留学を通して知り合い、つながることのできた多くの人々との貴重な出会いに感謝している。特にホスト・ロータリアンとその家族との出会い、

そして彼らと奨学生・ロータリアンという関係を越え、本物の家族のように付き合うことが出来たことには、感謝してもきれないほどである。彼らは、一年という滞在期間の中で、多くの素晴らしい体験をもたらし、さらに私の英語能力の向上にいつも手を尽くしてくれた。また、アメリカや日本の文化の違いなどについてもしばしば語り合い、お互いの文化を理解し合う時間を共有した。そしてときには私の将来についても語り合い、本当の娘のように親身になって耳を傾け、とても賢明なアドバイスをくれた。このような素晴らしい出会いと彼らへの感謝の念が、私の人生を今後さらに豊かなものにすることを確信している。

私は将来、日本語と英語の架け橋となる人間として働きたいと考えている。これは長年の夢であり、アメリカでの留学を通してこの思いは更に強いものとなった。帰国子女でもなく海外滞在経験が長いわけでもなく、言語と文化の違いに悩まされ、学び続ける必要のある自分だからこそ、この二つの言語の介在役として外国人と日本人を結ぶ役割が果たせると信じている。

また、アメリカ人のみならず、人種のるつぼと言われるほどの他民族・多文化の国に滞在できたことは、世界を知り現在を知るための貴重な経験となった。異国の地への旅行ではなく生活をするということは、その土地の文化や習慣、ものの見方、考え方が身に付くだけでなく、それらに対する興味関心がさらに深まり、視野を広げることができた。世界の状況はマスメディアを通じて情報として簡単に知ることは可能であるが、実際に世界中の様々な国からの友人を通じて直接見聞きした経験は単なる情報としてだけではなく、実感を伴った有益な資源として私の知識となった。彼らとの英語を共通言語とする対話を通じて、私はこれらの有益な資源を一人でも多くの日本人に伝え、また、日本からの資源を世界中の人々に伝えたい、という気持ちを一層強めた。

そしてさらに、留学を通じて粘り強さと自己の意見をはっきりと正確に相手に伝える・主張することの重要性、物事に対する前向きな姿勢の持つ力を学んだ。日本的な視点からは、控えめな態度や寛容さ、察し合いなどが良いものとされるが、国を一步出ると必ずしもそれらの文化が通用するとは限らない。国際社会では、相手の意見は認めつつ自己主張をし、しっかりと相手に伝える表現力と強さが評価される。自己主張の

ロータリー財団国際親善奨学生 田島麻美さん卓話 2

強いと言われているアメリカ人との付き合いの中でそのことを改めて実感し、このような姿勢が将来の自分の職業生活の中では重要となり、国際社会の中で生きるものにとって必要不可欠な要素であると実感した。

2. 留学体験が、アメリカや日本に対する視点をどのように変えたか。そしてロータリー財団の使命である「国際理解と世界平和」にどのように貢献したか。

・アメリカに対する視点

留学以前はアメリカという国に対して単なる憧れのようなものを抱いており、「偉大な国」という勝手なイメージだけを持っていたように思う。しかし、実際に自分がその国に身を置き生活する中で、単なる偉大な国だけでは済まされないということが分かり、また、異文化というものを身をもって実感した。「人種のるつぼ」と言われている国だけあり、世界中の国々から人々が集まり共存しているアメリカは、他の人種(異なる人種)と触れ合うことに慣れているゆえ、人々は大変フレンドリーである。しかし、様々な人種の混じり合った国だからこそ生き残るための手段として人々は自己というものを確立し、主張しているように感じた。

大学生活の中で例を挙げると、アメリカの学生はクラスのサイズに関わらず、自らの疑問や質問は授業中にその場で質問し解決する。また、異なる意見や考えがある場合には、相手を否定するのではなく、自分の意見を一個人のものとしてきちんと伝える。また、授業中の態度は大半の学生が熱心であり、受動的になりがちな日本の授業形態とは異なり大変、能動的である。講義を主体とする授業であっても、多くの授業がディスカッションや学生の意見を求める形式であり、自己主張を重要視するアメリカ社会の基礎はアメリカの教育の中に自然と組み込まれているのだと感じた。

さらに、プレゼンテーションにおいても、アメリカの学生は訓練されているかのように非常にスマートにこなし、大変堂々としている。要点をおさえた説明は、彼らの日常的な会話からも見られるように、「事実・理由・説明」という三つの柱が確立されている。

時間の使い方という点から見ると、アメリカ人は大変時間を有効に使っているように感じた。学生たちは授業の空き時間を利用して、フリスビーやキャンパス内のジムで汗を流し、週末にはキャンプやパーティーを積極的に開催し、それらを心から楽しみ、メリハリのある生活を過ごしており、限られた時間を大切にしてい

るように感じた。

前述の通りアメリカは様々な人種や文化を抱える国であり、ある種の柔軟さと寛容さがこの国に住む人々あるいは社会にはあるように感じた。しかし異文化が混じりやすい国であるがゆえに抱えている移民の問題や貧富の差(生活の格差)を目の当たりにし、これからアメリカという国がどのようにしてそれらの問題に対処し改善していくのかということに関心を抱いている。

・日本に対する視点

まず何より、日本は世界中の中で最も豊かで安全な国であるということを実感した。外に出て初めて自国の素晴らしさを実感している。食事、交通、教育、どの分野においても大変豊かで便利であり、当たり前としていたことが外国では特別である場合があるということを知った。また、日本の製品に関しても質の高さは世界一と言えるのではないだろうか。機械のみならず、文具や衣料品なども大変精巧かつ繊細であり、丈夫であることに気が付いた。

日本人は控えめであり、アメリカ人と比較すると自己主張が少ない分、時々ネガティブなイメージを持たれているような感覚を持ったことがあったが、日本の文化や日本の素晴らしさを改めて実感し、これからは胸を張って自国をアピールしていきたいと心から思う。

・「国際理解と世界平和」にどのように貢献したか。

私はアメリカの伝統的な行事をホスト・ロータリアンとその家族と一緒に過ごした。サンクスギビングやクリスマス、イースターなどであったが、その際行事の由来や歴史、それらの意味することやどのようなことを行うのかを積極的に知ろうとした。アメリカの文化のみならず、世界中(約40カ国)からの留学生を受け入れている大学の特徴を生かし、知り合った友人のそれぞれの国の文化などについても同様であった。また、美術館や博物館、コンサートなどに足を運んだ。アメリカで実際の生活を送るだけでは知ることのできない歴史や伝統、時代の変化による文化の移り変わり等の貴重な情報を得ることができ、アメリカという国に対する理解や興味がより深いものとなった。今後さらに世界の大国、アメリカのあり方や世界との関わりを見ていき、…

3. 国際親善使節としてどのように奉仕したか。

国際親善使節として、この留学期間中は主に日本

ロータリー財団国際親善奨学生 田島麻美さん卓話 3

の文化を広め、日本語学習をサポートすることに努めてきた。

大学で行われているconversation partner(日本人留学生とアメリカ人学生の相互の言語能力向上を目的としたもの)に登録をし、大学から紹介されたアメリカ人の学生と毎週会い、英語能力の向上を図るとともに、日本に興味のある学生と知り合うことができたため、彼女やその周りの多くの日本語学習者とも知り合う機会が得られ、彼らの日本語学習の手伝いや日本文化の紹介、日本料理と一緒に作ったり日本の映画を観たりするという機会を持った。また、日本語を学習しているロータリアンの子供たちとも知り合うことができた。彼らにも同様に日本の紹介をする中で、彼らの日本・日本語への興味関心の深さを知り、大変喜びを感じた。

4. ロータリー国際親善奨学金について周りにどのように語るか。

国際親善奨学金は、奨学金の制度的な面はもちろん、ロータリアンと奨学生とのつながりや奨学生に対する支援があらゆる面で行き届いており、非常に信頼のおけるものである。ロータリーの会合やその他の行事への出席を通して、ロータリアン、奨学生など通常の留学では知り合うことのできない数多くの人々との貴重な出会いがある。スポンサーロータリアンを始め、派遣地区のロータリアンは私の出発前に奨学生、それから日本人としての心構えや留学におけるアドバイスをくださった。そして、ホストロータリアンは、本物の家族として私をいつも気遣ってくれた。また、受け入れ地区のロータリアンは様々な形でアメリカ文化に触れる機会を与えてくれた。

また、年に一度開かれるロータリーの地区大会出席の際には、メキシコやボリビア、韓国、台湾や日本からの他の留学生に出会い、その後も連絡を取り合う関係を築くことができた。このように、年代、性別、国籍を超えた人と人とのつながりは、国際親善奨学金によってしか得られないと思う。その点で、非常に優れた奨学金であると語りたい。

また、語学研修や渡航費まで支援する奨学金はまれである。ロータリーの奨学生はそういった点でも非常に恵まれているといえる。私自身も1ヶ月間現地で語学研修を受けられ、アメリカ生活に適應するための時間と語学力向上の時間を得られたことに非常に感謝している。

5. 資料・研修はどのように役立ったか。オリエンテーションをどのように改善できるか。

奨学生全員が受け取る奨学生要覧は、留学準備から帰国までにやるべきことやスピーチの心構えなどについての詳細が載せられており、国際親善奨学生としての生活の指針となり、非常に役立った。

6. 将来の奨学生への助言や情報

留学前は準備や手続き等に追われ、時間的な余裕があまりないと思うが、自分の留学先の町や大学・大学周辺を詳しく調べておくことは留学後に役立つ。また、可能であれば現地の人や大学の国際センターなどの人々と連絡を取り、家賃の相場や必要な経費、町の特徴などをおおまかに知ることは費用削減につながり、留学開始後に問題を抱える可能性も低くなる。また、留学国に出発する前に、留学先で質問されそうな自国やスポンサー地区についての基本的な情報はあらかじめ知っておくべきである。

7. ロータリーと今後どのように関わっていくか。

この一年間の留学経験は私にとって言葉では言い表すことができないほど素晴らしいものであった。派遣地区、受け入れ地区のロータリークラブの方々との出会いはもちろん、この留学を通して出会うことのできた全てのロータリアンの方々に対する感謝の気持ちを忘れず、今後は自分が得たものを何かの形で還元できるよう努めていきたいと考えている。

また、私自身、留学前のオリエンテーションで出会うことのできた元奨学生の方々のお話やアドバイスは大変参考になり、その後も個人的なつながりを持ちながら教えていただいた情報は留学の際に役立つものであった。私もぜひ、今後の奨学生の力になりたいと考えている。

さらに、スポンサー地区の例会に招待された場合には積極的に参加し、自分の体験を語っていきたい。また、ロータリーの4つのテストの言葉にある、『真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうか』は、留学中の心の指針であった。今後もこの言葉を胸に人生を歩んでいきたい。

2007-2008年度 国際ロータリー第2840地区 地区大会の報告と御礼

ガバナー 横山 公一
地区大会実行委員長 割田 一敏

本年の地区大会は「会員の為の会員の大会」と位置づけ、ロータリアンだけの大会とさせて頂き運営いたしました。当日はお忙しい中、遠路にもかかわらず、860人のメンバーに駆けつけていただき中味のある大会させて頂きました。誠にありがとうございました。

RI会長代理で1974～75年度RI2580地区パストガバナー佐藤千壽先生に「黄金の十字架・茨の冠 - 見果てぬ夢の職業奉仕 - 」という演題で記念講演をいただきました。89歳とは思えぬパワーと論理で話を頂きました。会員の皆様の職業奉仕の考え方の一助となれば幸いです。

式典終了後の懇親会では、沢山の方に御参加いただき大いに懇親会を盛り上げていただきました。会員皆様の友情の輪が広がり2840地区内クラブの活性化にお役に立てたのではないかと存じます。また、この場をお借りしまして、ホストの沼田ロータリークラブ、コ・ホストの渋川ロータリークラブ・沼田中央ロータリークラブ・水上ロータリークラブの会員の皆様ご協力ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。



横山公一ガバナー挨拶



割田一敏大会実行委員長挨拶



佐藤千壽RI会長代理記念講演



国歌並びにロータリーソング斉唱



青少年交換留学生活動報告(壇上にて)



懇親会にて

地区大会RI会長代理挨拶

「分かちあいの心」 1 (抜粋)

前置が長くなりました 会長代理たる者、当然の任務としてWilf Wilkinsonのテーマとその重点強調事項について語らなければなりません。然し盛沢山の大会行事の中で私に与えられた時間も限られていますから、重点強調事項として指定された“membership water health hunger literacy youth and the family of Rotary”についてのみ必要最小限の要点を申し上げます。(カナダ出身のウィルフ会長に関する個人情報『ロータリーの友』7月号にR・I指定記事として6頁にわたり詳細に出ていますからこれを御覧下さい。またR・I現況報告については、その重点的統計数字をプリントしてお配り 地区大会プログラムP7～8参照 しますのでそれで御承知下さい)。



先ずテーマですが、英語の原文はRotary Sharesですね。これが日本語では「ロータリーは分かちあいの心」と訳されています。エバンスンの本部で作ったものらしいですが、どうもしくりしません。然しそれを論ずることはやめて、メッセージの内容を読むと、要するに他の仲間達と親睦を深めよ、新しい会員を増やせ、次の世代を育成せよ、職業人として持っている技能、才能を広く分け与えよ……ということで格別目新しいことではありません。私が東京東ロータリー・クラブに入会してその翌年クラブ幹事に就任した時、即ち1960～61年度のR・I会長Edd McLaughlinのテーマが“ You are Rotary - Live it. Express it. Expand it. ”で、この年また日本に於て最初の国際大会が開催されました。そんなこともあって、このテーマの韻律高い鮮烈な響きは忘れることが出来ません。今年のテーマも言わんとする趣旨に変わりはないのですが、言葉の選択には年と共に手垢がついて通俗的になってきました。

さて私を代理としてこの大会に派遣するというウィルキンソン会長から横山ガバナー宛に出された手紙を見ると、先の重点課題を列挙した上で、主宰者のガバナーとしてはとにかく財団への寄附とポリオ撲滅運動を更に継続して大会出席者に訴えよ、とあります。会長の立場上当然のことで、私からはそうお伝えしておくだけでいいでしょう。とどのつまり、あなた方に望まれる「分かちあいの心」は先ずあなたの財布からということになります。それにしても会長代理としての私にすればやはり本年度の強調事項について説明する責任があると思います。逐一申しましょ

(1) 会員増強・・・これはロータリー永遠の課題で何十年変わらず毎年度唱えられています。然し近年の傾向としては増強より退会防止が重要になっているのであって、この点をもっと掘り下げて考える必要があるでしょう。量より質の問題です。

(2) 保健、飢餓・・・エイズ撲滅を中心課題にしてこれも連年強調されてきていますが、国際奉仕活動の目に見える具体的テーマとして一番分かり易い項目です。然らば我々日本のロータリアンに対して何を望むのか?結局財団への寄附要請でしょう。ロータリーは益々慈善事業団体化してゆきます。

(3) 識字・・・これは1986年のR・I理事会で、世界中から読み書き出来ぬ文盲を無くそうという10年目標の長期計画を立てたのが始まりですが、10年くらいで達成できるはずもなく、毎年どの会長も同じことを言い続けています。また本来青少年教育を主眼にして設けられた財団としてはやはり永遠の中心課題になるでしょう。ところがこれとて、文盲など一人もいない日本にしてみれば、関係ないことですから、結局財団に対する寄附ということで終わってしまう様です。

地区大会RI会長代理挨拶

「分かちあいの心」 2

然し私は一寸違った考えを持っています。今の日本には文字や知識には問題なくとも、良識というか、人間として最も大切な智慧のない人が多いのに驚かれます。これはもう教育上重大な退化現象です。だから私はこの識字という言葉に識智と読み替えて日本のロータリーに於ける重点目標にすべきだと提唱しています。

(4) 青少年とロータリー家族・国際ロータリーがテーマとして家族=家庭ということに取り組んだのは1995~96年の会長ハーバート・ブラウンですが、それは国際連合がその前年1994年を国際家族年に指定したと連動するものでした。勿論これは重要なことで世界的に広がってきた青少年の不良化は家庭の崩壊という現象と密接な関係があります。それ以後の会長は何れもこれを引継いで家族という一項目をテーマ項目の一つに取込んでいます。たゞロータリーの場合、ブラウン会長の趣旨からは少しずつ来て、家族重視を会員減少に対する歯止めとして捉えている様に見受けられます。勿論それはそれなりの意味があることで、せめて我々のクラブがこれに答えられる一の方策として、先日私は我が東京東ロータリー・クラブに次の様なクラブ細則改定追加案を提案しました。理事会、總會で採択成立しましたので、御参考までにそれを披露します。

正会員の身分を終身保持し続けて逝去した会員家族の一人が、その逝去後1年以内に同一職業分類のもとに入会を認められた時は入会金を免除し、また逝去時点で納入済みのクラブ半期会費も徴収しない

(5) 水・私の記憶では水ということに最初に言及したのはスウェーデンから出た2005~06年度会長Carl Wilhelm Stenhammarです。彼はR・I会長としてあれこれプロジェクトを考えているうちに、奥さんから助言されてこれに思いついたと言っています。ところがこればかりは国際的な大問題なのです。だから事があまりにも大き過ぎてロータリーはたゞ水保全と声高に叫ぶだけです。ロータリアンとして=基本的には職業人として=如何に対処すべきか、という基本姿勢には何も觸れていません。国際協議会の講話でも、またロータリーの各種出版物でも、汚染した水で健康を害している12億人もの人達が清潔な水を得られる様に援助しようとか、荒地を開発する為の灌漑施設建設を援助しようとかいう小手先の対症策しか示していません。それでしたら、保健衛生や世界社会奉仕という従来からのプロジェクトに含まれていることであって、今更改めて水という大きなテーマを別立てにして論ずる必要などありません。また論じたところでロータリーに手の届く問題でもないのです。大気と水は地球規模の大問題で然も相互に関連しあっている深刻な現象なのです。だからこれを重点課題として取りあげるなら、全人類に対する警鐘として、人々の意識改革に取り組むべきです。

問題点は幾つもありますが、これを論ずるだけで一冊の著述が出来てしまいますから、一つだけ私達自身にも関係ある食糧と水について申し上げます

先ず分かり易い実例として2005年8月、NHKテレビで2回にわたって放映された「ウォータークライシス」と題する特輯番組を引用させていただきます

インド・パンジャブ州はもともと不毛の乾燥地帯だったのですが、戦後豊かな水田の広がる緑の穀倉地帯に生まれかわりました。それを可能にしたのが、最新の技術による深井戸掘鑿で、豊富な地下水を容易に汲上げられる様になったからです。何処の国でもそうですが、もともと乾燥地というのは太陽が強く照りつける所ですから水さえ豊富に供給されれば絶好の農地になるのです。アメリカがいゝ例ではありませんか。現在インド全土にはこうした井戸が2千万本もあり、近々30年間に穀物生産高は人口増加率を上廻って増加し、曾て貧困飢餓の大国と見られていたインドは今や食糧輸出国に変貌しました。ところが過ぎたるは及ばざるが如し・・・井戸を掘って水をどんどん汲み上げれば地下水位は当然下がって行きます。そこで更に深く掘

地区大会RI会長代理挨拶

「分かちあいの心」 3

る必要に迫られる……ところが地下水も深さ50メートルを超えるあたりから塩分濃度が急速に上がってくるのです。そして今度は強烈な太陽の下で緑の農地は塩害に犯され、忽ち不毛の乾燥地帯に逆轉してしまいます。

5千年以上の歳月を要して出来た地底の貯水池から短期間にどんどん水を汲み上げた結果、地表が逆に塩害不毛の土地になりました。こうして不毛の乾燥地になった農地がもとに戻るにはやはり5千年を要すると言われていています。目先の利益に追われてこの様な地下水の収奪を続けられれば、インドは再び食糧難に陥るでしょう。近年パンジャブ州では塩害で農作の道を奪われ自殺する貧しい農民が目立って増えてきたそうです。これはインドだけでの特種な事情ではありません。アフリカでも中国でも、いやアメリカでさえも地下水と農地の問題は同じです。中国にしても今や農産物の大輸出国です。村落のわずかな住民が飲料と生活用水に使うための井戸なら問題ありませんが、産業用となれば大変な問題になるのです。井戸が駄目なら河ですが、河川の水となれば、上流と下流の地域で奪いあいになります。同一国内でさえそうですから国境を越えれば争乱の種になります。

一口に水と言いますが、市民が使う生活用水はわずか10%で工業用水が20%、そして残り70%が農業用水なのです。アメリカでさえ農業用水の不足で悩んでいます。降雨量の多い温帯多湿地帯に住む日本人はどれもその辺の事情にうといようです。それより水害に心を奪われて、水の有効利用を忘れています。日本では持て餘すほど雨が降るのですが、国土の地形からしてやむを得ないとは言えるものの、殆ど全部をそのまま海へ流してしまっています。曲折した河川を直線にし、護岸をコンクリート壁にし、池や沼や濕原をどんどん潰して生態系を破壊しました。自然の貯水池である水田も急速に減少しました。そして食糧自給率は、農林水産省の発表によると2006年度なんと39%です。先進工業国でもアメリカとフランスは自給率100%以上、ドイツ、イギリスにしても70~80%台です。インドが食糧輸出国で日本が世界一の食糧輸入国だというのは何か狂っていると思いませんか。してみれば、先程言いました様に農産物(ひいては畜産物も含めて)が水の固まりだとするなら、日本は正に水に於ても世界一の輸入国なのです。水道が普及して清潔な飲料水を国民に100%供給している国は世界中で日本と米国、豪州、それに英国とドイツ・フランス等のヨーロッパ先進諸国だけです。それにも拘らず贅沢な日本人は輸入の鉱水を買ってまで飲んでます。雨水を貯めて輸出するわけにはゆかないでしょうが、せめて食糧自給策と豊葦原瑞穂国の景観、生態系恢復を計ったらどうでしょう。これこそ日本のロータリーが考えるべき水保全です。

地球を取囲む大気まで含めて地球という存在を一体として考えれば水はいくらでもあるのです。増えも減りもしません。海水ばかりでなく淡水だって無限に存在します。霧となり雲となり雨となって巡回しているだけです。問題はその巡回過程にあります。ところがその巡回の秩序を乱しているのが正に環境を犠牲にして経済成長に狂奔する人間の営みではありませんか。氷山が溶けて海面が上昇し、国土が水没するというのも人間の営みによる地球温暖化現象の一つです。21世紀に於ける水問題は大气と共に人間存在それ自体の安全保障に関わる問題だということに思いを至さなければなりません。国際ロータリーが水と銘打って重点課題に列挙するからには、産業構造から市民生活にまでメスを入れて警鐘を鳴らすべきでしょう。

終戦直後日本へ来たさる外国要人が、「日本人は水と安全はたゞだと思っている。」とからかったそうです。

然し私をして言わしめれば

・ <理想社会とは空気と水と安全がたゞですむ社会である>・

一年間の青少年交換留学を終えて

久保村 尚子

私が住んでいたニューヨーク州のイサカという街はコーネル大学を中心とした学園都市です。外に出てみれば、野生の動物たちに出会い、冬は零下20度の銀世界となり、夏になればホタルが飛び回っている。そんな大自然がいっぱいの街でした。初めての一人での生活。不安と期待でいっぱいでしたが、そんな不安も無我夢中で生活しているうちに、気がついたら楽しい生活へと一変していました。3つのホストファミリーの方々に家族の一員として連れていていただいた沢山の家族旅行。学校生活ではベストフレンドも出来、悩みを打ち明けたり、時には一緒に泣いたり・笑ったり。友達のおかげで留学生活が楽しかったと言っても過言ではありません。

アメリカ生活の中で、沢山の友達との出会いが何といても貴重でした。私が一番心に残っている友達との出会いは、他国からアメリカへと移住してきた難民です。私の友達スミヤはマンマーからの難民です。彼女とは、学校の英語のクラスで知り合いました。戦争の勃発により、国に居られなくなった彼女は2年前アメリカ政府の援助のもとアメリカへと移住してきました。移住してきた当時は全く英語が話せなかったようですが、学校のサポートにより今は英語に苦労するような事はなくなったそうです。彼女はそんな先生方に影響を受け、今は他国の子供達に英語を教える先生になる為に頑張っています。私は友達の出会いを通して、アメリカの素晴らしさにも直で触れる事が出来ました。

そして留学生活をしていて一番感じたのは、家族・友達の大切さです。日本に居ては分からなかった両親のありがたみに気がつく事が出来ました。日本からエールを送ってくれた家族や友達が本当に支えとなりました。

そして日本に帰ってきた今、私は漠然としていた夢も定まりました。私は来年、もう一度アメリカに戻りたいと考えています。そしてアメリカで自分の夢を実現できるように一層努力していきたいと思っています。

私はこの留学のおかげで大きく成長する事が出来ました。この留学に参加させてくださったロータリークラブに本当に感謝しています。ありがとうございます。



2007～2008年度

国際ロータリー第2840地区 青少年交換プログラム

一年交換学生募集要項

派遣国:アメリカ 他

派遣期間:2008年8月～2009年7月

応募資格

- 1) 生年月日1990年3月1日～1992年10月1日までの、心身ともに健康な、群馬県内の学校に在籍する学生
- 2) 学内成績が中程度以上であること
- 3) 地区内ロータリークラブが推薦する学生であること
- 4) 推薦ロータリークラブと共に来日学生のホストファミリーとして参加できること

選考試験:12月初旬に県内で実施の予定(面接と簡単な筆記試験)

派遣学生が負担する費用

・渡航に関する費用

(目的地までの往復航空運賃、傷害保険加入料、渡航手続き費用など)

・留学先での衣類や個人的な費用

(ホームステイですので食事・学費はロータリークラブが負担します。)

・ロータリー(地区)より若干の補助金あり

申し込み方法

・受付期間:2007年7月1日募集開始、11月末日締め切り

・提出書類

○ 申込み用紙 1部

○ レポート 1部

(交換学生になりたい理由、交換中・交換後の抱負などを原稿用紙1、2枚程度にまとめて下さい。)

・学生を推薦しようとするクラブは、上記申込み用紙にクラブ会長が署名の上、学生のレポートと共に下記の青少年交換委員会まで郵送して下さい。

書類確認後、選考試験の案内を推薦クラブ・学生の双方に通知致します。

その他:合否は決定次第、各推薦クラブ会長と学生宛に通知致します。

合格者はその後、RI所定の留学申請書一式を作成し、当地区委員会に提出することとなります。

委員会は本人の留学希望先を考慮に入れ、各国地区委員会と交渉を進め、受入ロータリークラブが内定します。この際、必ずしも本人の希望する地区・国とならないこともあります。

お申込み、書類の請求及びお問い合わせは下記までお願い致します。

横山ガバナー事務所

〒378-0054 沼田市西原新町138-9 グリフ内

TEL.0278-30-2840 FAX.0278-30-2841

2007～2008年度

国際ロータリー第2840地区 青少年交換プログラム

夏期交換学生募集要項

派遣国:アメリカ(第5100地区オレゴン州 他)

派遣・受入期間:2008年7月末、若しくは8月初旬に出発し、約3～4週間、米国のホストファミリー宅に滞在します。尚、それに先がけ、7月初旬に米国学生が来日し、約3～4週間滞在しますので受入をお願い致します。

応募資格

- 1) 派遣時、中学又は高校在学中の学生
- 2) 学内成績が中程度以上(であることが望ましい)
- 3) 心身ともに健康・健全であること
- 4) ロータリアンの子弟(孫を含む)又は地区内ロータリークラブが推薦する学生であること
- 5) 来日学生のホストファミリーとして参加できること

派遣学生が負担する費用

・渡航に関する費用

(目的地までの往復航空運賃、傷害保険加入料、渡航手続き費用など)

・ロータリーが主催するオリエンテーション参加費、交通費

・滞在先での衣類や個人的な費用

・ロータリー(地区)より若干の補助金あり

申し込み方法

プログラムに参加希望のクラブはその旨を11月末日までに、必ずガバナー事務所か地区青少年交換委員会に連絡して下さい。

その後、必要な提出書類を送付しますので、翌年1月末までに下記ガバナー事務所宛郵送して下さい。

・提出書類

○ 申請書(アプリケーションフォーム) 英文3部 和文1部

○ 在学証明書 1通

その他:夏期交換派遣クラブは、必ず相手国夏期交換学生の受入クラブとなることが条件となります。又、受入にあたり、男女の希望は認められませんのでご了承下さい。

お申込み、書類の請求及びお問い合わせは下記までお願い致します。

横山ガバナー事務所

〒378-0054 沼田市西原新町138-9 グリフ内

TEL.0278-30-2840 FAX.0278-30-2841

ローターアクトからのお知らせ (vol.5)



国際ロータリー第2840地区

地区ローターアクト代表 小林 朱里

ローターアクト主催で、『RCとの合同河川敷清掃』を実施致します。

詳細を記載したご案内を各RC事務局へ送付させて頂きました。ご都合のつく方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。**ローターアクトと一緒に清掃活動で汗を流しましょう!!**

RAC・RC 合同河川敷清掃

日時 / 2007年11月25日(日)

登録開始 9:30 ~ 清掃 10:00 ~ 12:00 親睦BBQ 12:30 ~ 14:00

場所 / 前橋公園と県庁周辺の清掃ならびに前橋公園下河川敷清掃

(集合場所は前橋公園内噴水前です。駐車場は河川敷駐車場をご利用ください)

詳細は、各クラブ事務局へ送付した案内状をご参照ください。

合同公式訪問がスタートします!!

10月29日(月)中毛分区(前橋・前橋南・伊勢崎RAC)からスタートし、ガバナーにもご出席を頂く「合同公式訪問」が下記の日程で行われます。

この合同公式訪問は、提唱RCの会長幹事様を始め、新世代奉仕委員の方やアクト委員の方にもご出席を頂き、RCとRACがこれからのアクトについて考え、意見交換をする機会です。

提唱RCの方だけでなく、近隣RCの方々やアクトについて関心のある方、意見を言いたい方などのご出席も大歓迎です。ロータリアンの皆様の関心をローターアクトに向けて頂く、ひとつの機会として、多くの方にご出席頂きますようお願い申し上げます。

合同公式訪問日程

| | | |
|------------------|------------------|-------------|
| 中毛分区(前橋・前橋南・伊勢崎) | 10月29日(月)19:00 ~ | 中央情報経理専門学校 |
| 東毛分区(桐生・桐生西・太田) | 11月24日(土)19:00 ~ | ナウリゾートホテル太田 |
| 西毛分区(高崎北・富岡・藤岡) | 12月 2日(日)14:00 ~ | 高崎ビューホテル |
| 北毛分区(渋川・沼田) | 12月16日(日)18:00 ~ | (株)ゴルフ内 |

東毛分区と北毛分区は、当初の日程から変更になっております。

海外研修の詳細決定!! 日程 / 2008年1月12日 ~ 14日(2泊3日)

今期のローターアクトの海外研修はグアムに行くことが決定しました。

現地では、RAC of the MarianasやタモンベイRCとの交流、戦争平和慰霊公園への千羽鶴の寄贈、グアム大学訪問、地元ボランティア参加などを予定しております。国際交流のいい機会となるよう充実した研修にしていきたいと思っております。

ローターアクトに関するご意見・ご質問・会員紹介・卓話依頼などは...

地区ローターアクト代表 小林朱里までお願いします E-mail syuri_onepiece@ybb.ne.jp

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

ハイライトよねやま 92号(抜粋)

2007年10月12日発行

1. 寄付金速報 — 10月は米山月間です —

9月までの寄付金は、前年同期に比べて4.6%減、約1千7百万円の減少です。普通寄付金が2.5%減、特別寄付金が7.2%減と、8月末(3.3%・1千万円減少)に比べると減少幅が広がりました。10月は米山月間です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 日韓親善会議で米山奨学生がスピーチ【第2750地区 金静希さん】

第9回ロータリー日韓親善会議が9月7日～8日の2日間、青森市内のホテルで開催されました。この第2日目のプログラムで、米山奨学生の金静希(キムジョンヒ)さん(東京大学大学院/東京日本橋RC)がスピーチを行いました。自らの生い立ちを振り返り、「身を削って奉仕活動をするロータリアンの生き方を、亡き祖父母の姿に重ね合わせて見ている」と話した金さん。近年の日韓関係に触れながら、「自分がそうであるように、他人もまた良い部分も悪い部分も併せもった弱い存在であると認識できるなら、乗り越えられない紛争はなく、受け入れられない他人はいない」と結び、会場から万雷の拍手を受けました。原稿の全文は下記に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

第2750地区米山奨学委員会ホームページ <http://www.2750yoneyama.jp/nikkan.html>

3. GETSで米山奨学生・学友が母国への思いあふれるスピーチ

「母国スリランカで日本語学校を設立し、奨学金制度も備えて、日本語学習の機会を広く提供したい」。第2570地区の米山奨学生、ジャヤトリー・ターラカー・ビジェラトナさん(城西大学/坂戸RC)は、大きな瞳を輝かせて、将来の夢をそう語りました。また、母国ネパールで識字教育を展開するNGOを設立した米山学友のラジブ・シュレスタさんは、「進路に混乱して、個人中心の生活を選ぼうとしていた私に、もう一度社会のために役立ちたいという気持ちを取り戻させてくれたのは、ロータリーとの出会いでした」と、米山奨学生となった意義を振り返りました。

4. 米山奨学生が「二科賞」を受賞!【第2750地区 キムキョンミンさん】

第92回二科展が9月5日～17日にかけて東京六本木の国立新美術館で開催され、彫刻部の最優秀作として現役米山奨学生・キムキョンミンさん(韓国/多摩美術大学大学院/東京多摩グリーンRC)の作品が二科賞に輝きました。

10月は米山月間 米山月間特集のご案内

今月号の『ロータリーの友』“よねやまだより”は新旧理事長対談ですぜひご一読ください。(『ロータリーの友』10月号 横組みp17～23)

文庫通信(242号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万9千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

文献資料の電子化を進めており、資料PDF閲覧の項目を追加しました。文庫通信もPDFで閲覧できます。PDFにアクセスしていただきますと、文献資料をパソコン画面に取り出すことができます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えておりますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

| | | | |
|--|------|-----|-----|
| 「二人三脚で乗り越えた介護の日々」 小山明子 (D.2670) | 2006 | 19P | PDF |
| 「世界の山々をめざして～世界自然遺産との共生」 田部井淳子 (D.2830) | 2006 | 5P | PDF |
| 「21世紀のゴールドラッシュと日本」 野口悠紀雄 (D.2710) | 2006 | 17P | PDF |
| 「豊かなくなるま社会を目指して」 渡辺捷昭 (D.2760) | 2006 | 11P | PDF |
| 「環境の世紀 日本の世紀」 小池百合子 (D.2740) | 2007 | 6P | PDF |
| 「どうする地球環境問題」 北野 大 (D.2740) | 2007 | 6P | PDF |
| 「社会変動を視野に入れた教育」 能勢隆之 (D.2690) | 2007 | 20P | PDF |
| 「世界を旅して～活着ている地球～」 星野知子 (D.2560) | 2006 | 4P | PDF |
| 「国際社会におけるこれからの日本」 麻生太郎 (D.2580) | 2007 | 7P | PDF |

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

2007-2008年度 地区行事一覧

| | 開催日 | 項目 | 場所 |
|-------|------------------|-----------------------------|---------------|
| 2007年 | 11月 | RAC海外研修(未定) | |
| | 11月20日(火) | ロータリー財団地域セミナー | ホテルパシフィック東京 |
| | 11月21日(水)~23日(金) | ロータリー・ゾーン研究会 | お台場 メリディアンホテル |
| | 12月1日(土) | 地区指導者育成セミナー(深川純一先生) | 前橋マーキュリーホテル |
| | 12月9日(日) | 米山奨学学友会クリスマス会 | 前橋ホテル |
| 2008年 | 1月6日(日) | 第3回ガバナー諮問委員会 GE壮行会 | 前橋マーキュリーホテル |
| | 1月20日(日) | 米山奨学生審査会 | 前橋ホテル |
| | 1月13日(日)~20日(日) | 国際協議会 | サンディエゴ |
| | 1月26日(土) | 地区財団補助金審査会 | |
| | 2月23日(土) | 米山奨学生終了式 奨学生歓送迎会 | 前橋ホテル |
| | 4月19日(土) | 米山カウンセラーセミナー 米山奨学生オリエンテーション | 前橋ホテル |
| | 4月27日(日) | ローターアクト年次大会 | 群馬音楽センター |
| | 5月10日(土) | 次年度地区協議会 | 生涯学習センター(富岡市) |
| | 6月7日(土) | 米山奨学会学友会総会 | 前橋ホテル |
| | 6月8日(日) | ロータリー財団奨学生オリエンテーション・壮行会 | |
| | 6月15日(日)~18日(水) | 国際大会 | ロサンゼルス |
| | 6月21日(土) | 第4回ガバナー諮問委員会 | 前橋マーキュリーホテル |
| | 6月21日(土) | 新旧地区役員連絡会議 | 前橋マーキュリーホテル |

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度 周年行事予定クラブ

| 年度 | クラブ名 | 周年 | 予定日 | 開催場所 |
|-------|-------|----|-----------|-------------------|
| 2007年 | 富岡かぶら | 5 | 11月17日(土) | ホテルアミューズ富岡 |
| 2008年 | 富岡 | 45 | 3月 | ホテルアミューズ富岡 |
| 2008年 | 碓氷安中 | 10 | 3月16日(日) | 並木苑 |
| 2008年 | 太田南 | 30 | 4月5日(土) | 太田ナウリゾートホテル |
| 2008年 | 中之条 | 40 | 4月12日(土) | ツインプラザ(吾妻郡学習センター) |
| 2008年 | 高崎北 | 40 | 4月16日(水) | 高崎ビューホテル |
| 2008年 | 館林 | 50 | 4月26日(土) | レストランジョイハウス |

新会員紹介



大木 晴伸
太田南RC

入会日/2007年9月4日
職業分類/小児歯科
勤務先/大木歯科クリニック
役職/院長
推薦者/久保田文彦



室田 雅之
高崎北RC

入会日/2007年10月3日
職業分類/商業銀行
勤務先/(株)群馬銀行高崎支店
役職/執行役員支店長
推薦者/井上達之助、秋葉猛



島 安男
前橋中央RC

入会日/2007年10月17日
職業分類/産業廃棄物処理業
勤務先/(株)島商事
役職/代表取締役
推薦者/徳島眞彦

第2840地区 9月 出席報告

| クラブ数 | 会員数 | | | | |
|------|------|------|--------|------|-------|
| | 月初 | 月末 | 純増減会員数 | 女性会員 | 当月出席率 |
| 47 | 2067 | 2074 | 7 | 78 | 84.38 |

| | クラブ名 | 例会数 | 出席率(%) | 会員数 | | | | | クラブ名 | 例会数 | 出席率(%) | 会員数 | | | |
|------|----------|-------|--------|-----|-----|----|-------|---------|-------|--------|--------|-----|----|----|----|
| | | | | 月初 | 月末 | 増減 | 女性 | | | | | 月初 | 月末 | 増減 | 女性 |
| 第1分区 | 前橋 | 3 | 89.45 | 108 | 108 | 0 | 3 | 太田 | 4 | 94.23 | 80 | 80 | 0 | 2 | |
| | 前橋西 | 4 | 81.95 | 55 | 55 | 0 | 3 | 館林 | 4 | 87.04 | 58 | 58 | 0 | 0 | |
| | 前橋東 | 4 | 90.31 | 63 | 63 | 0 | 2 | 大泉 | 4 | 84.80 | 60 | 60 | 0 | 3 | |
| | 前橋北 | 2 | 86.89 | 52 | 52 | 0 | 2 | 太田西 | 4 | 87.96 | 26 | 26 | 0 | 1 | |
| | 前橋南 | 4 | 91.18 | 34 | 34 | 0 | 2 | 太田南 | 5 | 87.24 | 41 | 42 | 1 | 0 | |
| | 前橋中央 | 4 | 87.00 | 36 | 37 | 1 | 10 | 館林西 | 4 | 81.25 | 22 | 22 | 0 | 0 | |
| | 合計 | | 87.80 | 348 | 349 | 1 | 22 | 新田 | 4 | 90.39 | 32 | 32 | 0 | 0 | |
| 第2分区 | 桐生 | 2 | 75.47 | 67 | 69 | 2 | 0 | 館林東 | 4 | 90.38 | 29 | 29 | 0 | 3 | |
| | 伊勢崎 | 4 | 89.74 | 61 | 63 | 2 | 0 | 太田中央 | 4 | 84.62 | 40 | 40 | 0 | 2 | |
| | 桐生南 | 4 | 74.38 | 40 | 40 | 0 | 4 | 館林ミレニアム | 4 | 89.45 | 26 | 26 | 0 | 0 | |
| | 群馬境 | 4 | 79.05 | 38 | 38 | 0 | 1 | 合計 | | 87.74 | 414 | 415 | 1 | 11 | |
| | 桐生西 | 4 | 89.65 | 56 | 56 | 0 | 0 | 渋川 | 3 | 94.98 | 65 | 66 | 1 | 2 | |
| | 伊勢崎中央 | 4 | 91.23 | 60 | 60 | 0 | 2 | 沼田 | 4 | 83.17 | 54 | 54 | 0 | 0 | |
| | 伊勢崎南 | 3 | 85.86 | 34 | 33 | -1 | 1 | 草津 | 4 | 76.75 | 23 | 23 | 0 | 2 | |
| | 桐生中央 | 4 | 77.88 | 26 | 26 | 0 | 3 | 水上 | 4 | 87.50 | 8 | 8 | 0 | 0 | |
| | 伊勢崎東 | 2 | 75.00 | 30 | 30 | 0 | 1 | 中之条 | 4 | 83.70 | 27 | 26 | -1 | 1 | |
| | 桐生赤城 | 4 | 87.15 | 37 | 37 | 0 | 2 | 沼田中央 | 4 | 100.00 | 48 | 48 | 0 | 0 | |
| 合計 | | 82.54 | 449 | 452 | 3 | 14 | 渋川みどり | 4 | 85.53 | 39 | 39 | 0 | 2 | | |
| 第3分区 | 高崎 | 2 | 83.1 | 70 | 71 | 1 | 1 | 合計 | | 87.38 | 264 | 264 | 0 | 7 | |
| | 高崎南 | 4 | 85.97 | 63 | 63 | 0 | 3 | 富岡 | 4 | 85.93 | 55 | 54 | -1 | 5 | |
| | 高崎北 | 4 | 81.14 | 66 | 66 | 0 | 0 | 藤岡 | 4 | 85.50 | 50 | 50 | 0 | 2 | |
| | 高崎東 | 4 | 83.85 | 55 | 55 | 0 | 1 | 安中 | 3 | 77.22 | 24 | 24 | 0 | 0 | |
| | 高崎シンフォニー | 4 | 86.84 | 43 | 43 | 0 | 3 | 藤岡北 | 4 | 64.70 | 20 | 20 | 0 | 2 | |
| | 高崎セントラル | 4 | 72.66 | 35 | 35 | 0 | 0 | 富岡中央 | 4 | 81.66 | 39 | 39 | 0 | 0 | |
| | 合計 | | 82.26 | 332 | 333 | 1 | 8 | 碓氷安中 | 4 | 73.43 | 17 | 17 | 0 | 2 | |
| 第6分区 | | | | | | | | 藤岡南 | 4 | 82.30 | 24 | 24 | 0 | 3 | |
| | | | | | | | | 富岡かぶら | 4 | 80.31 | 31 | 33 | 2 | 2 | |
| | | | | | | | | 合計 | | 78.88 | 260 | 261 | 1 | 16 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |